

重要港湾小名浜港・相馬港海上出入貨物量 【平成24年（1～12月）速報値】

【概要】

- 小名浜港・相馬港の取扱貨物量の合計は、23,424,969トンで、平成22年*1と比べ3,143,034トン（+15.5%）増加しました。
 - このうち、小名浜港・相馬港のコンテナ取扱貨物量*2は、7,994TEUで、7,270TEU*3（▲47.6%）減少しました。
- ※1 東北地方太平洋沖地震による施設の被災で、平成23年は貨物量が大きく減少したので、増減比較対象期間を平成22年としています。
- ※2 コンテナ取扱貨物量は、実入りで空コンテナは含みません。
- ※3 TEUは、コンテナ本数を20フィートコンテナに換算した場合の単位です。

【全体貨物量】

- 小名浜港は、17,884,205トンで平成22年と比べ3,031,031トン（+20.4%）増加しました。
＜主な増加要因＞
発電所向け重油、原油の取扱量が増加したため。
- 相馬港は、5,540,764トンで平成22年と比べ112,003トン（+2.1%）増加しました。
＜主な増加要因＞
公共事業向け砂利、砂の取扱量が増加したため。

◎主要取扱貨物

| 港名 | 順位 | 貨物種類 | 貨物量（トン） | 対22年増減 | 構成比 |
|-----|----|------|-----------|------------|-------|
| 小名浜 | 1 | 石炭 | 6,193,067 | +120,542 | 34.6% |
| | 2 | 重油 | 3,805,969 | +2,524,792 | 21.3% |
| | 3 | 原油 | 2,561,262 | +938,849 | 14.3% |
| 相馬港 | 1 | 石炭 | 4,798,724 | +317,915 | 86.6% |
| | 2 | 砂利・砂 | 210,924 | +150,694 | 3.8% |
| | 3 | 重油 | 140,000 | +45,760 | 2.5% |

- ◎過去10年の取扱貨物量（過去10年）
「別表1」のとおり。

【小名浜港コンテナ取扱貨物量】

- 小名浜港のコンテナ取扱貨物量は、7,926TEUで平成22年と比べ7,041TEU（▲47.0%）減少しました。
- 輸移出は、2,486TEUで平成22年と比べ2,813TEU（▲53.1%）減少しました。
- 輸移入は、5,440TEUで平成22年と比べ4,228TEU（▲43.7%）減少しました。
＜主な減少要因＞
外資定期コンテナ航路が平成24年4月まで休止していたため。

◎主要取扱貨物

| 輸出入 | 順位 | 中分類 | 貨物量 (TEU) | 対22年増減 | 構成比 |
|-----|----|-------|-----------|----------|-------|
| 輸移出 | 1 | ゴム製品 | 1, 164 | - 49 | 46.8% |
| | 2 | 合成樹脂等 | 370 | - 1, 150 | 14.9% |
| | 3 | 再利用資材 | 342 | - 584 | 13.8% |
| 輸移入 | 1 | 製材 | 2, 964 | + 518 | 54.5% |
| | 2 | 非金属鉱物 | 541 | - 795 | 9.9% |
| | 3 | 化学薬品 | 459 | - 807 | 8.4% |

◎取扱貨物量の推移 (過去10年)

「別表2」のとおり

【相馬港コンテナ取扱貨物量】

- 相馬港のコンテナ取扱貨物量は、68TEUで、平成22年と比べ229TEU (▲77.1%) 減少しました。
- 移出は68TEUで平成22年と比べ160TEU (▲70.2%) 減少しました。
- 移入はなく、平成22年と比べ69TEU減少 (全減) しました。
 <主な減少要因> 施設の機能が十分に復旧していないため。

◎取扱貨物量の推移

「別表3」のとおり。